

事業番号	09 03 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検
事業名	環境にやさしい農業推進事業	部局	農政部
		課・室	農業技術課
		実施期間	H16 ~ E-mail nogi@pref.nagano.lg.jp

### 1 現状と課題

・2050年ゼロカーボン達成に向け、国は令和3年度に農業分野における持続可能な食料システムの構築を目指す「みどりの食料システム戦略」を策定、令和4年度には同戦略を推進するための新法を施行

・農業分野においても、環境負荷を低減した持続可能な農業へ転換していく必要があるが、有機農業等の環境にやさしい農業に取り組む実践者は近年、実践者が固定化しており、取組面積も横ばいの状況にあることから、実践者・取組面積の面的拡大に向けた支援や、地球温暖化防止に貢献できる取組の速やかな普及が必要

・食のグローバル化が進む中、国際水準GAP※に対する実需者ニーズが一層高まっていることから、既存のGAPからのステップアップや認証取得に向けた支援が必要

※GAP(Good Agricultural Practices：農業生産工程管理)

「食品安全」「環境保全」「労働安全」から定められる点検項目に沿って、農産物を作る際に適正な手順を守り、モノの管理を行い、持続可能性を確保する取組。国際水準の取組では、点検項目に「農場経営管理」「人権保護」の視点が加わる。

・気候変動等の影響による新たな病害虫や防除困難な病害虫が発生しており、生産現場への影響が深刻化していることから、対策が必要

### 2 事業目的

農業生産に起因する環境負荷軽減を図り、持続可能な生産につなげるため、みどりの食料システム法に基づき、有機農業等の環境にやさしい農業の地域ぐるみでの展開や、農業分野における脱炭素への貢献に向けた農業技術の実証・普及、実需者・消費者など関係者の理解醸成を推進する。

消費者や実需者から信頼され、求められる産地を目指し、安心安全な農産物生産の基になるGAPの取組や農業の安全使用を推進し、農産物の生産に大きな被害を及ぼす新たな病害虫や防除困難な病害虫のまん延防止を図る。

### 3 事業目的を達成するための取組

**①有機農業等環境にやさしい農業やゼロカーボンに資する取組の推進**

・【新】環境にやさしい農業の価値を見える化するため、有機農業に係る新たな認証制度を検討するとともに、化学合成農薬・肥料を削減した栽培などに取り組む農業者をみどりの食料システム法に基づき認定する新たな制度等を推進

・【拡】有機農業に関心がある生産者、実需者、消費者、行政などで構成する有機農業プラットフォームの会員同士のつながりを創出するため、年間を通した検討会の場を設定

・有機農業の面的拡大を図るため、市町村等が地域ぐるみでの取り組む有機農業産地づくり（オーガニック・ビレッジの創出）や有機農業プラットフォーム会員の独自活動等を支援

・地域の農業者が実施可能な環境にやさしい栽培体系等を組み立てるため、技術実証と検証を行う現地実証展示地区を設置

・令和4年度に採択された「四県サミット共同宣言（※）」に基づき、果樹せん定枝等、未利用有機質資材を活用した炭素貯留の取組を推進

※「四県サミット共同宣言」：第7回中央日本四県（静岡・長野・新潟・山梨）サミット（R4.9.14）で、観光・環境等の推進を、4県の知事が共同で発

**②GAPの推進**

・農業者等の国際水準GAP（GLOBALG.A.P.、ASIAGAP、JGAP）認証取得のためのコンサルタントの導入や認証審査を支援

・農業者等の認証取得や国際水準への取組のステップアップを支援するため、国際水準GAPに対応可能な職員を育成

**③重要病害虫のまん延防止**

・発生予察調査により侵入警戒を行うとともに、テンサイシストセンチュウの防除及びまん延防止を徹底

### 4 成果指標

（推移の凡例 ↑：改善 ↓：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移				
①	持続可能な農業に取り組む面積（化学合成農薬・肥料を削減した栽培、有機農業）	ha	2,389	2,465	↑	2,671	↑	2,877		第4期長野県食と農業・農村振興計画（答申書）において、5年後に取組み面積をR3年度の1.5倍（3,700ha）を目指すことが長期目標であるため、初年度であるR5年度は2,877haを目標とする。	
②	国際水準GAPの取組に関する研修会の参加者数	人	478	223	↓	300	↑	500		国際水準GAPの周知と各農場での実践者増加、既存GAPからのステップアップにつなげるため、10地域で年2回研修会を開催、1回当たりの参加者数25名を目標として設定	
③	指標なし										

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（指標名）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
1-1①	持続可能な脱炭素社会の創出	該当なし									
2-1①	成長産業の創出・振興	該当なし									
2-2①	循環経済への転換の挑戦	該当なし									

### 6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額				決算額	職員数	
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計			
R5年度	(予算案)	338,896		338,896	24,409	18.5	
	(要求)	781,242		781,242	24,409		
R4年度	8,400	141,326	227,000	376,726	25,898	18.5	
R3年度	67,582	127,146	96,374	291,102	19,242	288,864	18.5
予算要求からの 主な変更点	テンサイシストセンチュウの新規発生ほ場が当初の想定より少ないことが判明したため、防除経費を減額						

事業番号	09 03 02	<b>細事業一覧（令和5年度実施事業分）</b>	□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	<b>環境にやさしい農業推進事業</b>		部局	農政部	課・室	農業技術課

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
1	<b>環境にやさしい持続可能な農業定着・促進事業</b>		11,069 千円	40,216 千円	(予算案) 77,737 (要求) 77,737 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	有機農業推進事業	直接 補助金	【新】有機農業に係る新たな認証制度の検討 ・市町村等が主体となった地域ぐるみでの有機農業産地づくりの推進 【拡】有機農業プラットフォームを核としたつながりの創出支援 オーガニックビレッジの創出 3市町村		
2	環境農業推進事業	直接 補助金	【拡】みどりの食料システム法に基づく農業者の認定及び「信州の環境にやさしい農産物認証」の認定推進 ・環境にやさしい農業技術実証展示地区の設置、現地検討会の開催 ・産地が地域ぐるみで取組む環境にやさしい栽培体系への転換に向けた実証・普及支援 環境にやさしい農業推進研修会の開催 1回、実証ほの設置 5カ所		
3	農業分野における脱炭素推進事業	直接	・情報交換会への参加及びJA等と連携したバイオ炭の施用方法の検討 情報交換会への参加 3回		
4	G A Pの推進	直接 補助金	・国際水準GAPの認知度向上とステップアップに向けた研修会の開催 ・国際水準GAP認証取得支援 ・国際水準GAPに対応可能な職員を育成するための研修の受講 認証取得支援10件、職員の育成31人		

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
2	<b>環境保全型農業直接支払事業</b>		35,406 千円	39,728 千円	(予算案) 42,070 (要求) 42,070 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	環境保全型農業直接支払事業	交付金	・化学肥料、化学合成農薬の使用を50%削減したうえで、地球温暖化防止、生物多様性保全の取組を行う農業者を支援 交付額 40,870千円		

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
3	<b>植物防疫事業</b>		78,900 千円	59,671 千円	(予算案) 217,424 (要求) 659,770 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	発生予察事業	直接	・病害虫防除所等による病害虫発生予察ほ場の設置及び調査の実施 ・日本植物防疫協会が提供する農薬登録情報等の検索システムへの加入 予察巡回調査ほ場設置ヶ所数 210ヶ所、予察方法の発表回数 10回		
2	病害虫防除所運営費	直接	病害虫防除所の設置及び運営 病害虫防除所（本所及び中南信担当）の設置及び業務の推進		
3	重要病害虫まん延防止対策事業	直接	・国が指定する重要病害虫（テンサイストセンチュウ）の防除及びまん延防止対策の実施 ・薬剤抵抗性リンゴ黒星病防除対策プログラムの周知徹底 ・国が指定する病害虫（ミバエ等）の侵入警戒調査の実施 テンサイストセンチュウ、リンゴ黒星病のまん延防止、ミバエ等の侵入警戒調査 475回		

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
4	農薬安全使用対策事業	1,771 千円	1,711 千円	(予算案) 1,665 (要求) 1,665 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定) (上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	農薬安全使用対策事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農薬の適正使用の推進</li> <li>・地域特産作物等、マイナー品目の農薬登録拡大のための試験等の実施</li> <li>・環境モニタリング調査の実施</li> </ul>	
			地域特産作物の農薬登録適用拡大試験実施件数 4件	